

生徒指導にかかわる引き継ぎについて①

中1ギャップ問題や高1クライシスなどの学校間等の接続にかかわる問題を解消するためには、進学時等における児童生徒に関する情報の引き継ぎを適切に行うことが大切な要素の一つです。

道教委では、平成15年9月19日に文部科学省が公表した「児童生徒の問題行動等への対応の在り方に関する点検について（報告のまとめ）」を参考に、生徒指導にかかわる引き継ぎについての資料を作成しましたので活用してください。

引き継ぎの問題点・改善策

報告のまとめにおいては、各都道府県、指定都市教育委員会から抽出された小学校4,491校、中学校2,377校、高等学校851校が報告した、「児童生徒に関する情報の引き継ぎ」にかかわる問題点や改善策の例が整理・分析されています。

【問題点としてあげられた例】

- 小・中・高等学校間で十分な情報提供・共有化が行われていない場合も見られる。
- 進級時や人事異動時の校内における教員間での引き継ぎが不十分な学校がある。
- 情報交換会等で引き継ぎが行われているが、個人情報共有の在り方をどうするか問題となっている場合が見られる。



【取組の例や改善策としてあげられた例】

- 小中間又は中高間で、例えば生徒指導担当者間、学年担当者間、養護教諭間のそれぞれで情報交換を行う、入学前だけでなく入学後も情報交換を行うなど学校間の連携に努める。
- 小中間又は中高間で教員が相互に授業参観を行い、生徒指導や学習指導の在り方などの改善・充実に資する。
- 児童生徒個人に関する記録を作成し、校内における教員間の引き継ぎを確実にを行う。
- 児童生徒のプライバシーに配慮した情報の管理及び活用ができるような体制づくりが必要である。

引き継ぎチェック項目（例）

No.	項 目
1	引き継ぎの方法や内容等にかかわる教職員の共通理解が図られている。
2	引き継ぎの方法や内容等について見直しが行われている。
3	引き継ぎを行うための様式（引き継ぎシート等）が工夫されている。
4	いじめや不登校等について適切に引き継ぎ、指導に生かされている。
5	学校種間の引き継ぎが円滑に行われるよう連携を図っている。
6	関係機関や地域人材等と連携した対応についても引き継がれている。
7	学校種間の引き継ぎが進学後にどのように生かされているかについて情報交換を行っている。

- 各学校においては、校内及び学校間の引き継ぎについて、上記のチェック項目などを参考に点検・評価を行い、特定の教員等に任せ切りにすることなく、学校として組織的に引き継ぎの取組を進めることが必要です。
- その際、児童生徒のプライバシーに配慮しつつ、校内及び学校間の連携を一層充実することが大切です。